



「留学生による外国語講座」 ～英会話を通して市民の方々と触れ合いました!～

名古屋商科大学大学院マネジメント研究科 マネジメント専攻修士課程2年生
ソロモン ソンジーさん(ガンビア共和国出身)

I am looking forward to seeing you again.
また、お会いできることを楽しみにしています。



私は2019年9月に来日し、現在、大学院で経営学を専攻しています。留学先に日本を選んだ理由は、アジア諸国や世界の企業から見た日本企業の成長について研究したかったこと、また大勢の人々と交流し、未知な文化を体験したかったためです。

国際留学生会館では、在住留学生を対象とした様々なイベントがあります。その中のひとつが、留学生が講師となって、市民の方々に外国語や外国文化を紹介する講座です。私は今年の5月から6月にかけて、英会話講師を務めました。



▲2021年退去者お別れ会にて
(最後尾から2番目がソロモンさん)

受講生の皆さんは非常に熱心で、積極的に質問した

り、意見を述べ合ったりしていました。そのため受講生同士も私もコミュニケーションを楽しむことができました。また、皆さんの礼儀正しい振る舞いや、優しい心遣いなども嬉しく、回を追うごとにやりがいを感じるようになりました。

日本人の素晴らしいところは、献身的で、他人を尊重し、協調し合うところだと思います。今回の講座を通して、日本人や日本文化の魅力を再認識することができました。今後も市民の方々と積極的な交流を通じて、さらにその理解を深めていきたいと思っています。



▲留学生による外国語講座にて講師を務める
(2021年5月撮影)



ガンビア共和国の紹介

面積：11,300平方キロメートル
(ほぼ岐阜県と同じ面積)
人口：約228万人(2018年)
首都：バンジュール

公用語：英語
宗教：イスラム教(90%)、キリスト教・伝統宗教(10%)
その他：西アフリカ西岸に位置する共和制国家。
1965年に英国より独立 (外務省ホームページより)

国際留学生会館とは…

NICが2001年から管理・運営している、留学生専用の宿泊施設(名古屋港区)。居室90室のほか研修室や和室、体育室などを備え、100名の留学生が生活できる。日本文化理解講座の開催や各種相談・情報提供、地域住民との交流などを行っている。



特に目的があるわけではないけれど、ぶらっと来てみたら、気になることに出会える場所。このコーナーでは毎回NICライブラリーを紹介しています。

絵本で『世界』に出会う

名古屋国際センターライブラリーの「親子絵本コーナー」では、欧米や中東、アジアなど各国の絵本をおよそ5,000冊所蔵しています。日本でも人気の「はらぺこあおむし」、「おおきな木」、「もうぬげない」、「おつきさま こんばんは」などの外国語版もあります。

これらの絵本を活用した「外国語で楽しむ絵本の会」を毎月2回行っています。母国の紹介、歌や簡単な踊りの披露、お絵かきなどのプログラムを交えた、外国人ボランティア(6ページで紹介したイヴァンさんもこの1人です)による読み聞かせです。



▲ビッグブックを使った絵本の読み聞かせ

乳幼児から小学校低学年までの子どもたちが親子で参加し、読み手との交流を

楽しんでいきます。

このイベントでしばしば登場する大型絵本「ビッグブック」は、横幅1メートルもある、文字どおり大きな絵本で、とても見やすく、ページをめくるたびに色鮮やかな絵が目前に広がります。その迫力に、子どもたちはわくわくしながら目を輝かせます。

8月29日(日)には、拡大イベント「絵本のひろば」を開催しますのでぜひ、親子そろってご参加ください。
*詳細・参加方法は10ページをご覧ください。



▲親子絵本コーナーにあるビッグブック

ビッグブック62冊の一覧は下記でご覧いただけます

NICホームページ➡日本語➡ライブラリー
➡IV新着本・おすすめ本➡大型絵本/BIG BOOKS一覧



名古屋市には、包括的な交流を行う「姉妹友好都市」と、特定分野で実益ある交流を行う「パートナー都市」があります。今回は、2021年にパートナー都市提携2周年を迎えるタシケント市があるウズベキスタン共和国の民芸品を紹介します。

シルクロードの中継地点！ウズベキスタン

東西文化が交差するシルクロードの中継地として栄えたウズベキスタン。様々な文化が混ざり合い発展してきた中央アジアのこの国には、多くの魅力的な民芸品があります。

心躍るウズベキスタン民芸品

リシタン陶器

ティムール帝国の創始者がつくりあげた青の都、サマルカンド。鮮やかな青色のタイルで飾られた壮大な建造物が並びますが、この「サマルカンドブルー」を彷彿とさせるのが、同じく青を基調としたリシタン陶器です。リシタンはウズベキスタンのフェルガナ盆地の南部、キルギスとの国境沿いに位置する小さな町です。良質な陶土が採れるこの町では、およそ1,000年前から陶芸が行われてきました。天然の釉薬を使った鮮やかな青色を特徴とし、伝統の植物や幾何学模様で彫られた美しい陶器です。



スザニ刺しゅう

スザニは、女の子が生まれると母親が縫い始め、嫁入り道具に持たせるという、刺しゅうが施された色鮮やかな布です。地方ごとに独特の色合いや模様があり、壁掛けやベッドカバーなど、幅広い用途で使われています。スザニの模様は様々な意味があります。例えば「鳥」は幸せを、「ポピー」は若い女性を、「大輪の花」は生命のシンボルを意味します。



【日本⇄ウズベキスタン】
フライト時間：平均9時間
時差：-4時間
※タシケント

※タシケントをはじめとした各都市の魅力を動画で紹介しています。⇒



名古屋姉妹友好都市協会の公式ウェブサイト・フェイスブックでは、姉妹友好都市にちなんだイベント情報などを発信しています。ぜひご覧ください。

リニューアルしました!

Web <http://nsca.gr.jp/>

Facebook [nagoya.sistercities](https://www.facebook.com/nagoya.sistercities)

検索

世界のレシピ

～みんなで作ってみよう!～



NIC多言語スタッフ
グエン ティ フォンさん
(ベトナム出身)

ブンチャー

ブンチャーは首都ハノイの名物料理で、朝食によく食べます。ベトナム語で「ブン」とは「米粉でできた丸い麺」、「チャー」は「肉」の意味です。日本では、朝食に白米を食べる習慣がありますが、ベトナムでは、麺類やおこわ料理、パン(日本でも最近人気のバインミーなど)を食べます。また朝食は外食する習慣があり、食堂や屋台で朝食をとってから職場や学校に向かいます。ブンチャーは子どもの頃からの私の好物。周囲の人も驚くほど毎日食べていました。日本にいる今でも、自分で作ってよく食べています。皆さんもぜひ作ってみてください。



材料 2~3人分

ブン(素麺、ビーフンで代用可) 300g
つけ汁用
ニンニク 1/2個(お好みで)
唐辛子 1~2本(お好みで)
人参 1/2本
きゅうり 1/2本
水 1カップ
ナンブラー 大さじ2
砂糖 大さじ2
酢 大さじ2

〈焼き肉用〉
豚バラ肉 300g
サラダ油 適量
塩 少々
コショウ 少々
ナンブラー 少々
〈トッピング〉
パクチー 1束
サニーレタス 1/4個
フライドオニオン(市販のものをお好みで)

作り方

- ① ニンニクと唐辛子を、みじん切りにする。
- ② 人参ときゅうりを薄い輪切りにする。
- ③ 水、ナンブラー、砂糖、酢を鍋に入れて混ぜ合わせ、軽く温める。①と②を加え、つけ汁の完成。
- ④ 豚バラ肉を塩コショウで味付けし、油をひいたフライパンで、焼き色がつくまで焼いて、ナンブラーを加えさらに炒める。
- ⑤ ぶんを茹で、冷水にさらし、ザルに移す。
- ⑥ サニーレタスとパクチーを食べやすい大きさに切る。
- ⑦ ④、⑤、⑥とフライドオニオンを皿に盛る。つけ汁につけながら、お召し上がりください。